

## 別記様式（第4条関係）

## 会 議 録

会 議 の 名 称	宍粟市水道事業経営審議会	
開 催 日 時	令和3年9月22日（金）14時00分から16時00分まで	
開 催 場 所	宍粟防災センター5階 大ホール	
議 長（会 長） 氏 名	瓦田 沙季（県立大学教授）	
委 員 氏 名	(出席者) 城内 久和 中岡 幸 松本 則夫 岸本 京子 長野 委久子 船引 英示（ビジョン策定アドバイザー） 落岩 一生（ビジョン策定アドバイザー）	(欠席者) 米田 正富 佐古井 武男
事 務 局 氏 名	太中 豊和、祐谷 佳孝、坂井 高誉、宮本 雅博、小池 信仁、山本 孝幸、大谷 広宜、秋田 秀光	
傍 聴 人 数	0人	
会議の公開・非公開の 区分及び非公開の 理 由	公開・非公開	(非公開の理由)
決 定 事 項	(議題及び決定事項) 水道ビジョン最終（案）について指摘事項修正後、パブリックコメント実施。	
会 議 経 過	別紙のとおり	
会 議 資 料 等		

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
会長	○会長挨拶 ○自己紹介 ○水道ビジョンについて事務局より説明  質疑 施設台帳の整備について、精度を高めるとの説明であったが、具体的には？
事務局	現在整備している水道施設台帳については、一部設置年度・管種等において欠落している部分があります。それらのうち、浄水場から配水池、配水池から配水池間などの基幹管路について、欠落している個所を補完し、データを詳細に整理しながら、今後の基幹管路の更新計画を立てていく予定としています。
会長	欠落しているということは、設置年度が古いため、情報がないということですか？
事務局	旧町時代からの資産台帳等を紙データで整備しており、H26に上水道に統合したときに整理していますが、(各町の差異により)欠落した部分がありますので、今後の更新需要を導きだすのに関しては不十分であるため、この度の台帳整備を行っています。
会長	44PでH28からしか出ていませんが、H28内部留保資金は約10億でそれ以前は、これより多くあったのですか？
事務局	H26簡水統合前においては、13億近い資金がありました。
会長	この13億あった資金が、料金改定したことにより毎年収支の赤字をだすようになり、その赤字を埋めるために留保資金から毎年8千万程度支出し、このまま料金改定せずに続けた場合は、R8には内部留保が底をつく状態になります。もう内部留保に頼って経営を続けていくことは難しくなっているという理解でよろしいですか。
事務局	そうです。
委員	55Pの水質管理の徹底というところ、水質検査計画について場所や頻度、数値の説明など具体的な情報も付け加えてはどうかと思う。
事務局	水質検査計画自体は、別でHP上に公表しているため、そのアドレスやQRコードを載せるなど対応したいと思いますが、具体につい

	ては委員と相談して内容修正します。
会長	具体的な項目を明示していくのは時期的にも厳しいし、今のビジョン案も 100P 近くなっているため、検査項目等具体の情報については、HP にアップしている情報にアクセスしてもらって、このビジョンの中では、非常に厳しい検査をクリアし、安心安全な水を供給しているというアピールに留める、ということで委員・事務局ともよろしいでしょうか？
委員・事務局	はい。
委員	水道施設台帳について、どのような形で保管されているのか、また壊れた場合には補完・代替できるようになっているのか教えてほしい。
事務局	もともとのデータは紙台帳でしたが、今はデジタルのデータになっていますのでバックアップもとっています。
会長	データのバックアップについてですが、ハードディスクに保存しているのか、クラウドに上げているのか。
事務局	今はハードディスクで管理していますが、クラウドが主流になりつつあるので、今後、システムとしてはクラウドで検討していきます。
会長	クラウドについて、運営会社にトラブルがあった場合は、情報を取りにいけないことがあるため、複数のバックアップについても検討をお願いします。
事務局	はい。システムについてはクラウド、データの保管についてはハードディスクや他の記録媒体等で保管していきたいと思います。
委員	50P の料金改定のこと为核心という気がしますが、この中で目標として R20 経常収支比率 100%を達成し黒字化するとありますが、経常収支比率というのは前段の説明であった収益的収支のことでしょうか。
事務局	はい。
委員	同じく料金回収率について、経常収支比率と連動しているようなところがあるんですが、これはどういったものですか。
事務局	今の経常収支には、一般会計からの補填がありますので、料金回収率は料金でどれだけ穴埋めできたかということを示すんですが、R1 ですと料金回収率が 64.1%ですので残りの 30%以上は一般会計からの補填ということになります。今後一般会計からの補填は減少する

	見込みですので、収入を安定的に確保するためには料金を値上げするしかないということで、このように試算しております。
委員	もうひとつ49P に県内の料金比較表があり、宍粟は11番目に高いようですが、料金の安い事業者でも同じように料金改定の検討をしているのでしょうか。担当会議などあるとおもいますが何か情報はありますか？
事務局	<p>具体的話は聞いていませんが、人口減少はどこ自治体でも問題となっており、特に山間部の市町では、経営が厳しくなっており料金については、上げていく方向で検討していると思います。都市部については、施設や管路が古くなってきているため、本格的な更新を行う必要があるなどの課題があり、全国的に水道料金については値上がりする傾向にあると考えています。</p> <p>近隣の市町では、姫路市と上郡町がここ1、2年で値上げしています。</p>
会長	全国的にどの事業者も経営が厳しいようで、料金は値上がりする傾向にあるようです。新聞等の報道によると全国的に2割くらいの値上げが必要なようです
委員	69P の広域連携の取り組みで経営基盤強化とありますが、具体的なメリットがあれば教えてください。
事務局	我々の立場からすれば事業統合したいという思いはありますが、現在の広域連携の取り組みとしては、少しでも経費を安く抑えようということで、配管材料を共同で購入するとか緊急時に貸し借りできないかとかそのようなことを検討しています。
会長	西播磨地域で事業統合し料金も統一すれば赤穂市など料金の安い事業者もあり宍粟では料金は安くなるでしょうが、高くなる側としてはその住民も反対するでしょうからなかなか難しいと思いますね。材料などの調達については、規模の経済性が働いて安く購入できるなどのメリットがあります。また災害時などでも近隣の事業者で助け合うことができるメリットがあると思います。
委員	R5に料金が上がってまたR15にも上がるんだというのが正直な思いです。説明を聞いていて値上げせざるを得ないというのも分かりましたので、値上げにあたっては、理解できる方法で丁寧に説明をしていただきたいと思います。
事務局	丁寧な説明をしていきたいと思っています。

会長	水道事業は本来、使った人が料金を支払うというのが原則ですが、宍粟市の現状としては、一般会計からの繰り入れが 30%以上あります。一般会計からの繰入金は税金ですから、税金を水道に使うのか、教育、福祉、環境分野などに使うのかということだと思います。水道料金を上げることで今まで水道会計に繰り入れていたお金を他の分野に使うことができるため、トータルのパイは変わらず、どういう使い方をするかということだと思います。
委員	料金改定について部会のほうでも言いましたが、H24に値上げして、H26には下げ、R1にまた値上げすることとなるので、住民の方に十分理解してもらえるよう説明をお願いします。それと値上げ後の料金がどれくらいになるのかということも載せてもいいのかなとも思いましたが、公共料金審議会でも内容が審議されていくと思いますのでけっこうです。
委員	ビジョンには関係ないですが、水道施設台帳について、道路内にある管がほとんどであり、道路工事の支障になることもあるため、しっかりした管路台帳を整備してもらいたいと思います。
事務局	H24に値上げしてほぼ料金統一し、そこからH26に値下げし、R1に値上げしており混乱した経緯がありますので、今後はよく検討し実施していきたいと思います。
事務局	水道施設台帳についても、占有者が確実に物件を把握しておくというのは当然のことですので、これからもそのようにできるよう努力していきます。
会長	H26の料金改定時においては、経営審議会はなく、市役所内部での意思決定のみで値下げをしたと聞いています。料金を上げたり下げたりすることは住民にとっては理解しがたいことですから、今後は住民代表も交えて、多くの場で議論していただきたいと思います。
事務局	今後の予定としましては、11月から12月にかけてパブリックコメントを実施したいと考えておりますが、本日の会議で修正内容がありますので、修正部分の資料を郵送いたしますので確認いただきたいと思います。その後パブリックコメントで出た意見により内容修正した場合も、修正部分を郵送したいと思いますのでよろしくお願ひいたします。